

## ◆関連会議

### 平成 28 年度沖縄県青壮年・女性漁業者交流大会

水産海洋技術センター 久保弘文

平成 28 年 10 月 31 日（月）に沖縄県水産会館 5 階ホールにおいて、沖縄県と沖縄県漁業協同組合連合会の共催により、第 22 回沖縄県青壮年・女性漁業者交流大会が開催された。本大会は、本県における漁村青壮年・女性漁業者及び研究グループ等の自主的な活動実績を発表し、相互の知識の交流、活動意欲の向上及び成果の普及を図ることにより、今後の漁村社会の発展に寄与することを目的として毎年開催されている。

今年度は、宮古島漁協の上松智行氏が「宮古島産モズクの品質向上と安定生産を目指して」、伊平屋村漁協の諸見富男氏が「沖縄ミーバイの生産と販売促進への道のり」

と題し、それぞれの取り組みを発表した。また、沖縄水産高校海洋技術科コーストマリンコース生徒による”シラヒゲウニ完全養殖にむけて”と、宮古総合実業高校の食と環境科フードクリエイトコースの生徒による「Let's change the グルクン～県魚の魅力を再発見しよう～」と題した体験発表も行われた。同大会にあわせ、平成 28 年度指導漁業士 2 名の県知事認定式も執り行われ、認定書を授与された。

なお、最優秀賞（県知事賞）は宮古島漁業協同組合の上松智行氏が受賞し、平成 29 年 3 月 1 日～2 日に全国大会（東京開催）へ県代表として派遣された。



図 1. 最優秀賞（県知事賞）宮古島漁協上松智行氏および 2 名の認定指導漁業士